

NHK高学年プロジェクトにおける交流学習ツールの活用

新宮市立三輪崎小学校 嶋田 雅昭

1. NHK小学校高学年プロジェクト

今年度、NHK小学校高学年プロジェクトに参加しています。「放送番組を含むデジタル教材の質的向上と利用率向上」「全国の教師間のネットワークの構築」をねらいに、公開掲示板「先生の広場」を利用した授業作りに取り組んでいます。担当の番組は5年生社会科『日本とことん見聞録』です。なお、この番組は来年度フルデジタル化されWeb上で公開される予定です。

2. まずは掲示板

ワークシートを使った授業のようすや児童の反応を掲示板「先生の広場」にアップし、情報交換しながら授業の進め方を考えていきます。掲示板に指導案やワークシートを添付できるので、メンバー登録すれば自分の指導案にアドバイスをもらったり、他の人が作ったワークシートを使わせてもらうこともできます。こうした教師間の交流の中から、児童の考えをより広め深めるために、交流学習をおこなおうという流れができてきました。自動車工業の単元において児童が考えた「これからのクルマ」のアイデアをお互いに見合い、感想や質問を交流し合おうというものです。自分一人で行っていたら、適当に夢のあるクルマを描かせて終わっていたかもしれませんが、掲示板のおかげで社会科としての観点をより明確に持つことができました。

3. そして交流学習

「エコ」「リサイクル」「ユニバーサル・デザイン」「安全」、この4つの視点を意識して児童に「これからのクルマ」を考えさせました。できあがった作品は学校ホームページに掲載して、他の学校からコメントをもらえるようにしました。金沢市と米子市の小学校と連絡を取り合い、社会科の交流学習がスタートしました。

お互いのメッセージを交換し合うのにまず役に立った交流ツールは『Web学級日誌』です。これは教室のパソコンで児童が毎日つけているWeb上の学級日誌で、登録校同士がメッセージをやり取りすることができます。児童が毎日使っているものなので、すぐに利用することができました。この取り組みを通じて米子市立日新小学校との交流が活発になり、社会科の学習以外の面でもメッセージの交換がおこなわれるようになってきました。

もう一つ、『わいわいレコーダー』というソフトウェアを使いました。これはネット上の模造紙のようなもので、お互いの作品を見て感想や質問を張り付け合うことができます。複数の相手の作品を見ながら、大勢が同時に自分の考えを書き込むことができます。

これらの交流学習を通して、児童は「これからのクルマ」に必要なポイントを、社会科の学習としてより明確に意識することができたと考えています。また、交流学習を通してネットワークを活用することにも、少しずつ慣れてくることができました。

4. まとめ

- 「継続は力なり」 ワークシート 見る聞く書くの基礎基本から考えるきっかけへ
- 「適材適所」 各種ツールはねらいや用途によって使い分け
- 「モノログからディアログへ」 指導の観点の明確化 身近にもいる交流相手
- 「やっぱりプロジェクト・・・」 プロジェクトだからできること 広がるネットワーク
- 「学習」から「交流」への流れ、そして再び「学習」へ